

### 3 ただ神にのみ仕えよ —内村鑑三記念講演—

内村先生は二つのJを愛し、生涯を捧げて仕えたと申されました。しかし、私は二つのJを同列に並べるところに誤解が生じやすいと考えるようになりました。イエスは救主キリストであり、私どもにとって絶対の方、永遠の生命であります。しかしジャパン(日本)は、相対的・一時的な私どもの地上の仮住居に過ぎません。伝統とか民族的歴史も、これを絶対化することは許されません。私は今日、誤解を恐れずに一つのJ、イエスのみを愛すると言いたい。ただ神にのみ仕えることこそ無教会の精神だと言いたい。

内村先生の短言に「国旗を有し、軍隊を備うる国の中に吾らの国と称するに足る国あるなし、吾らの国は天にあり」と申されている言葉に同感いたします。また、先生の墓碑に記された言葉の最後は「すべては神のため」でありまして、明白に一つの神、一つのJを指し示しております。「ただ神のみ仕える」信仰をもって、十字架の主を仰ぎつつ、この世俗の問題を避けることなくたたかって生きるならば、神の真理をもって日本を清めるまことの愛国になることを確信いたすものであります。では唯一のキリストの父なる神様が、皆様一人一人と共に、どこにもあってもおいで下さいますように。(1979年3月 東京)